

コンテナの種類

(a) Dry Container

最も普及しており、多種類の一般貨物輸送に使用される。スタンダードコンテナ(Standard Container)とも呼ばれ、材質はスチール製が大半を占めている。



Dry Container

(b) Refrigerated Container (Reefer Container)

冷凍・冷蔵貨物(果物、野菜、肉、魚貝類などの生鮮食品、フィルムなどの化成品)の輸送に使用される。コンテナ本体は高い断熱性を持ち、一般的に冷凍ユニットを内蔵、所定温度を一定に保持できる。通常温度設定範囲は-18 ~ +20。



Reefer Container

(c) Open Top Container

長尺物、嵩高物、重量物の輸送に適している。屋根部分を開放することによって上部からの荷役を可能にしている。屋根の部分はキャンパスカバーで風雨を防ぐ。



Open Top Container

(d) Flat Rack Container, Flat Bed Container

屋根部分、両側面、扉面を持たず左右および上方から荷役が可能な構造となっており、長尺物、重量物またコンテナ詰めできない大型貨物の輸送に適している。さらに大型の貨物には複数個並べて対応できる。



Flat Rack Container

(f) Tank Container

鋼製フレーム内にタンクを格納した構造となっている。モルト(原酒)、醤油、食料品、液体科学薬品などの液体貨物に使用される。特定貨物の輸送に使用され、荷主所有のコンテナ(Shipper's Own Container)が一般的となっている。



Tank Container